

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	2017 青少年のための科学の祭典長野大会
事業主体 (連絡先)	2017 青少年のための科学の祭典長野大会実行委員会 (信州大学教育学部 Tel 026-238-4008)
事業区分	(3) 教育, 文化・スポーツの振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,970,838 円 (うち支援金: 1,470,000 円)

事業内容

小・中・高・短大・大学の教員、科学の普及に貢献している団体やボランティア学生によって設けられたブース及び教室において、地域の子どもが実験やものづくりを体験する事業である。ブースで展開される科学に触れることにより、自然や科学・ものづくりに対する認識と理解を深めさせることを目的とする。今回は地域で科学やものづくり・エコ活動に関する啓発活動を行っている団体と広く協同し、「キッズサイエンス」と共同で大会を開催した。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

平成29年8月5、6日の2日間にのべ2,052名の入場者があり、会場においてはブースに分かれて展示を行うのと平行してアンケートを実施し、340件の回答を得ることができた。入場者からは、様々な実験や観察、科学体験やものづくり体験を通して有意義な時間を過ごすことができたという意見が多数を占めた。また、ほとんどの入場者は一日中滞在してできるだけ沢山のブースに参加しようという様子が窺えた。今回初めてブース展示に参加された方からも、今後是非継続して欲しいという感想が多数得られた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

入場者アンケートから潜在的な科学やものづくりへの興味及び関心の高さが確認された。科学イベントで得られた科学体験を理科や技術離れの防止にいかにつなげていくかが、今後の大きな課題である。今後も出展テーマの検討等を行い、科学とものづくりに対する興味が深まるような事業になるよう取り組んでいきたい。また、今回新たに導入した「教室」についても概ね好評であったが、開催時間や会場配置等で改善すべき点があるため、次回に活かして行きたい。

(活動写真)



【「教室」の様子】

【目標・ねらい】

- ① 科学展示・ものづくり体験を通じて、地域の青少年に科学技術への関心と理解を深める
- ② 科学とものづくりに関する地域のネットワークを構築する

※自己評価【A】

【理由】

教室の出展数が当初予定を21件上回り、様々な体験プログラムを提供できたため

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある